deviceSTYLE

取扱説明書

THERMO MUG COFFEE MAKER

CA-3S/CA-W3S

サーモ マグ コーヒーメーカー

Brunopasso

はじめに

このたびは、サーモ マグ コーヒーメーカーをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は保証書とともに、大切に保管してください。

付属品をご確認ください

本機には下記の付属品が同梱されています。付属品を見落とさないようにご確認ください。

付属品
- パーマネントフィルター（本体のフィルターフォルダーの中にセットされています。）
- 計量スプーン（梱包内に入っています。）
- CA-W3Sはサーモマグ2個が標準装備されています。

ご注意

本機は日本国内専用です。交流100V以外のコンセントには接続しないでください。
本書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お取扱いや、お手入れに関するご不明な点や、修理に関するお問い合わせは下記のカスタマーサポートセンターにご相談ください。

《本製品に関するお問合せ》
デバイスタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

e-mail：customer.support@devicestyle.co.jp

《修理品の送付先》
デバイスタイル カスタマー サポートセンター

〒331-0812　埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677
修理品のお問い合わせ電話：048-664-3477

営業時間：平日午前9時～午後6時
（土日、祝日及び長期休暇を除きます。）

主な特徴

おいしさが長持ち

CA-3Sは、サーモタイプ(魔法瓶タイプ)のマグを採用していますので、コーヒー抽出後加熱保温の必要がなく煮詰らず、おいしさを保てます。

ステンレス製で取り扱いやすいサーモマグ

ステンレス製の真空二重構造のサーモマグは保温性能が高く、サーモマグのみを別の場所に持ち運んで、温かいコーヒーをいただけます。

また、万一落下などしても、ガラス製にくらべ、破損することが少なく安全に取り扱えます。

車のカップフォルダーにもぴったり

サーモマグは多くのカップフォルダーにもぴったりとセットできます。

※車種によっては入らない場合もあります。
※車のカップフォルダーにセットする場合は、こぼれないように十分ご注意ください。

380 ccの容量

マグの容量は380 ccなので、コーヒーカップに注げば約3杯分もOK。

手軽においしいアイスコーヒーがたのしめる

サーモマグに氷を入れてコーヒーを入れるだけでおいしいアイスコーヒーができ、冷たさも長持ちします。

パーマネントフィルター付属

市販のペーパーフィルターで抽出することも、付属のパーマネントフィルターで抽出することもできますので、お好みに合わせた使い方ができます。

紅茶や、ハーブティーなども楽しめる

付属のパーマネントフィルターでコーヒー以外にも、紅茶やハーブティーなど工夫次第で使い勝手が広がります。

もくじ

安全上のご注意(必ずお読みください)

製品を安全にご使用いただくため、ご使用の前によくお読みください。
製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

表示の意味

この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は、禁止の行為であることをあらわします。
図の中や下に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容をあらわします。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

改造禁止

修理改造をしない。
発火や、異常動作をして、破損や、けがの原因となることがあります。

禁止

幼児の手の届くところに設置しない。
やけど、けがや感電のおそれがあります。

守る

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
差込が不完全だと、感電や、ショート、発火の原因となります。

禁止

交流100V以外のコンセントに接続しない。
他の電源に接続すると故障や、発火の原因になります。

禁止

電源コード、コンセント部を水につけたり、水をかけたりしない。
ショートや、感電、故障の原因となります。

禁止

電源コードを無理に曲げたり加熱したり、ステープルで止めたり、重いものを乗せたり、そのほか無理のかかることをしない。
ショートや、感電、故障の原因となります。

禁止

濡れた手でプラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

サーモマグ（ステンレス製カップ）は絶対に電子レンジで温めない。
発火や故障の原因となります。

守る

落下した機器はそのまま使わないで、点検を依頼する。
そのまま使用すると発火や感電の原因となります。

プラグを抜く

煙が出たり、異常なにおいがしたり、異音が出るような場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、修理をご依頼ください。

⚠ 注意

プラグを
抜く

使わないときはプラグをコンセントから抜く。
けがや、劣化による感電、漏電による火災などの原因となります。

守る

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずプラグを持って抜く。
断線や、感電、ショート、発火の原因となります。

プラグを
抜く

お手入れは必ずプラグを抜いて、十分に冷えてから行う。
やけどや、感電の原因となります。

守る

使用中、または使用直後は注ぎ口など高温になる場所をさわらない。
やけどの原因となります。

禁止

抽出中はセットしてある容器を外さない。
コーヒー液がもれて、やけどや汚れの原因となります。

禁止

本体を水や洗剤などに浸さない。
故障の原因となります。

禁止

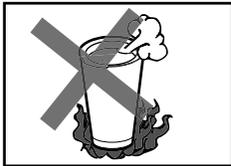
本来の目的以外に使わない。
故障の原因となります。

禁止

不安定な場所に置かない。
やけど、けがや感電のおそれがあります。

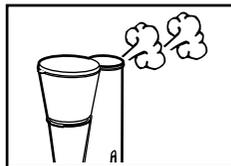
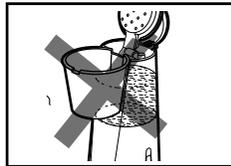
使用上のご注意

● **トップカバーは電源がオンのときには絶対に開けないでください。**
熱湯や、蒸気が湯口から噴き出してやけどをする恐れがあります。

● **サーモマグを直接火にかけたり、食器洗浄器や電子レンジに入れないでください。**
プラスチック部分が変形して、故障する恐れがあります。

● **ウォータータンクには水道水を入れてください。**
熱湯、ミネラルウォーター、アルカリイオン水などは入れないでください。

● **ビニールや、合成繊維のテーブルクロスや、じゅうたんなど、熱に弱いものの上で、使用しないでください。**変色する恐れがあります。

● **使用中や、抽出直後は、皮膚や、コード類が加熱部分に触れないようにご注意ください。**

● **背面は十分にすきまを空けてください。**使用中は背面から蒸気が出るため、やけどや、水分に弱い壁紙などが損傷する恐れがあります。

● **ウォータータンクに水が残っている状態で放置しないでください。**水が痛んだり、凍って故障の原因となります。
タンクに水が残っている場合はサーモマグをセットして、スイッチを入れ、水を放出してください。

● **持ち運ぶときはウォータータンク側面に手を添えて、本体の底を持って運んでください。**

● **抽出中や、抽出後3分間はサーモマグを外さないでください。**コーヒー液が抽出口からベースプレートに滴下して、やけどや、汚れの原因になります。

● **精密機器の上部で使用しないでください。**万一コーヒーがあふれた場合、故障の原因となります。

6 各部の名前

フィルターフォルダ

トップカバー

飲み（注ぎ口）

ウォータータンク

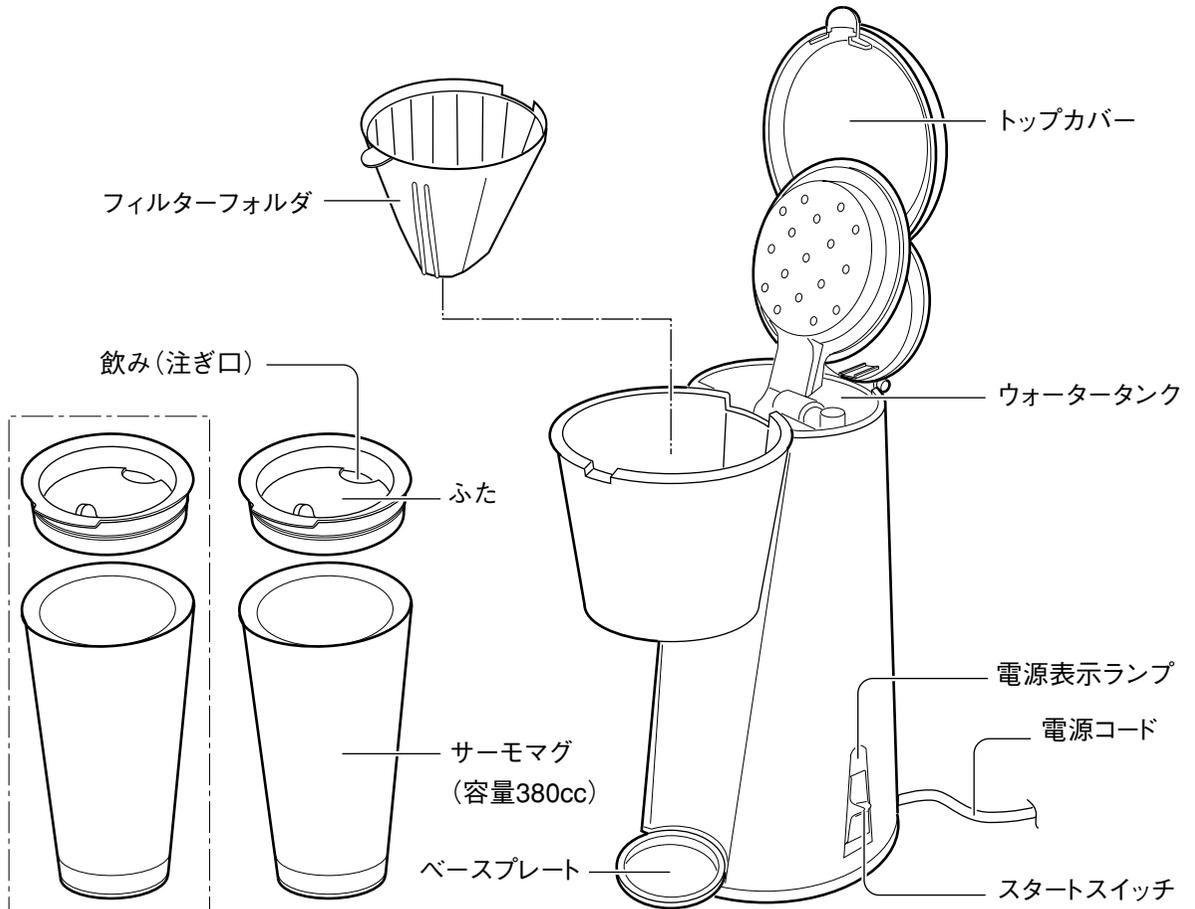
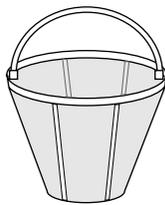
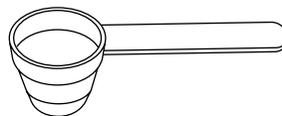
ふた

電源表示ランプ

電源コード

サーモマグ
（容量380cc）

ベースプレート

スタートスイッチ

CA-W3Sにはサーモマグが2個装備されています。

レギュラーコーヒーの入れかた

ご使用の前に

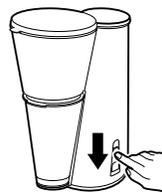
ご使用の前に清掃をしましょう

① サーモマグ、フィルターフォルダ、パーマネントフィルターを取り外して、お湯などできれいに洗浄してください。

サーモマグ

フィルターフォルダ

パーマネントフィルター

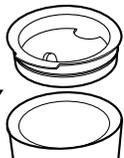
② サーモマグ7分目程度の水をウォータータンクにいれます。コーヒーを入れずに下の「コーヒーの入れかた」の手順に従い洗浄してください。

水を入れすぎるとサーモマグから水があふれますのでご注意ください。

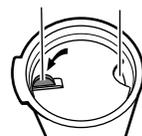
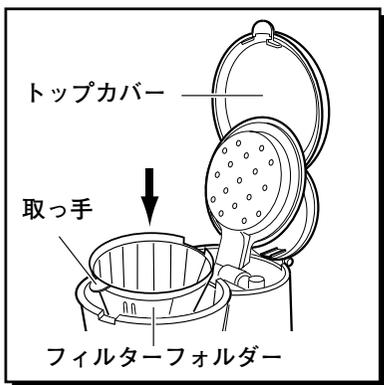
重要 **電源プラグをコンセントに差し込んだときすぐに電源表示ランプが点灯する場合はスタートスイッチがオンの状態になっています。**

- **ウォータータンクに水が入っているとき：**抽出口からお湯が出てきますので、サーモマグがセットされていないときはすぐにセットしてください。
- **ウォータータンクに水が入っていないとき：**2〜3分そのまま待っていただくと電源表示ランプが消え電源が切れます。少しおいてからご使用ください。

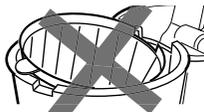
サーモマグの扱いかた

1. ふたを閉める

ふたは上から押さえれば閉まります。キチッと閉まったことを確認してください。

2. 注ぎ口を開ける

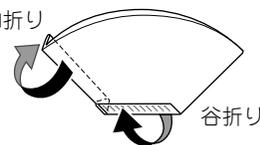
開閉レバーを矢印の方向に回して注ぎ口を完全に開けます。

コーヒーの入れかた

1. **トップカバーを開け、フィルターフォルダをセットする。**

フィルターフォルダの取っ手部分を本体の溝に合わせます。

重要 **フィルターフォルダをセットするときは傾かないように、まっすぐに入れてください。**

2. **ペーパーフィルターまたはパーマネントフィルターをフィルターフォルダにセットする。**

市販のペーパーフィルターまたは付属のパーマネントフィルターのどちらでも使えます。お好みに合わせてお使いください。

ペーパーフィルターは「1×2」、または「102」サイズ（2〜4杯用）が適しています。

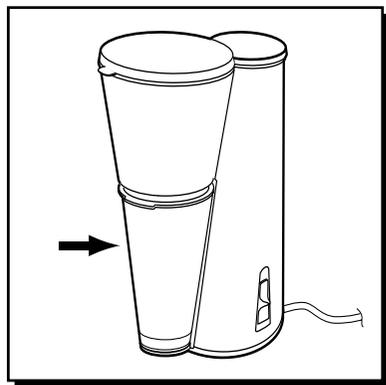
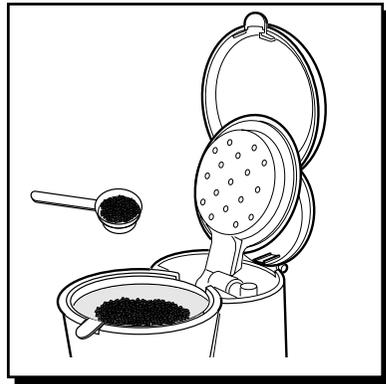
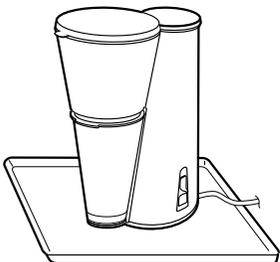
ペーパーフィルターは図のように折ってセットします。

また、セットするときはフィルターフォルダの壁面に沿うように手でなじませてください。

レギュラーコーヒーの入れかた（つづき）

パーマネントフィルターの使用でコーヒーが薄く感じられる場合は粉を多めに入れてください。

抽出前にサーモマグに熱湯を入れ内部を暖めておくと、より冷めにくくなります。また、その際ご使用になったお湯でコーヒーカップを温めることができます。

コーヒーカップ1〜2杯分のみ作るときはコーヒーカップなどで計って、仕上がり量より少し多めに水を入れてください。

スイッチが切れてもしばらくはコーヒーが滴下します。万一の汚れを防ぐためトレイなどの上に置くことをお奨めします。

3. **中挽きに挽いたコーヒーをフィルターに入れる。**

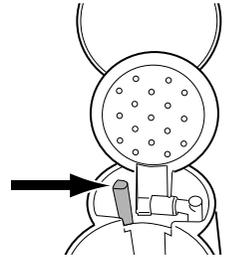
コーヒーは平らになるようにならして入れます。

ペーパーフィルターの場合：

標準的な量は付属の計量スプーン3杯で、サーモマグ1杯分（コーヒーカップ3杯分です。

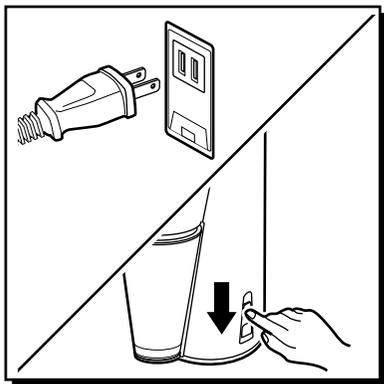
お好みにより粉の量や水を調整してください。

4. **ウォータータンクに水を入れ、トップカバーをカチッと閉める。**

タンクのこの目印以上には絶対に水を入れないでください。

5. **サーモマグの飲み口（注ぎ口）を開ける。**

サーモマグの飲み口（注ぎ口）が開いていることを必ず確認してください。飲み口（注ぎ口）が閉まっているとコーヒーが全てあふれ出てしまいます。

6. **サーモマグの飲み口（注ぎ口）を抽出口に合わせて、ベースプレートの上にキチッとおさまるように置く。**

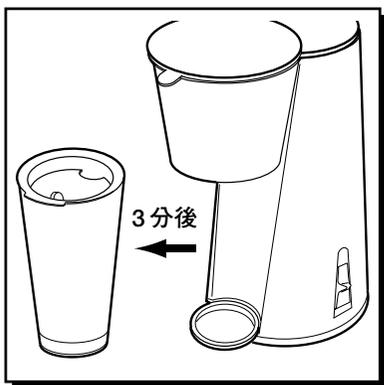
重要 **サーモマグのふたの取っ手を正面に向けると、正しい向きにセット出来ます。**

7. **電源プラグをコンセントに挿して、「スタート」スイッチを押し下げる。**

電源表示ランプが点灯し、抽出が開始されます。
(手を離すとスイッチのレバーは戻ります。)

抽出が完了するとランプが消え、自動的に電源が切れます。

ご注意

抽出中はサーモマグを引き出さない
コーヒーがベースプレートに滴下して周囲を汚したり、やけどをする恐れがあります。

ご使用後は電源プラグを抜いてください。

8. **スイッチが切れてから約3分まって、サーモマグを取り外します。**

すぐにサーモマグを外すとコーヒーがベースプレートに滴下します。この場合は別のカップをおくか、ふきんなどを敷いてください。

ご注意

スイッチが切れてもしばらくはトップカバーを開けないでください。やけどの恐れがあります。

ご注意

やけどにご注意
サーモマグは保温性能が良いため、飲み口(注ぎ口)から直接飲むときは、やけどに十分ご注意ください。

ご注意

飲み口(注ぎ口)が閉まっていてもサーモマグを傾けたり倒したりするとコーヒーがこぼれ出ることがあります。

ご注意

続けてコーヒーを入れるときは
続けてコーヒーを入れるときは熱が冷めるまで、約5分程、間を開けてください。抽出直後、内部のヒーターが熱くなっているあいだは安全のため、スイッチが入らないようになっています。
また、その状態で水を注ぐと熱湯や、蒸気が出ることがあり、やけどの恐れがあります。

重要

使い終わった後はフィルターフォルダや、パーマネントフィルターをよく水洗いしてください。

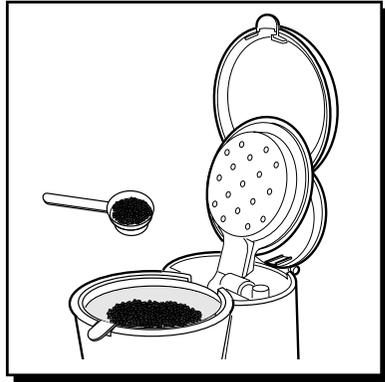
ご注意

**使用中は背面から蒸気が出るため、やけどや、水分に弱い壁紙などが損傷する恐れがあります。
本体の背面を十分に開けてください。**

カップにそそぐ場合、カップをあらかじめ熱湯で温めておくと、よりおいしく召し上がれます。

サーモマグはふたを閉めておくと、より長く保温できます。
この場合でも風味を損なわずにおいしくいただくため、早めにお召し上がりください。

アイスコーヒーを作るには

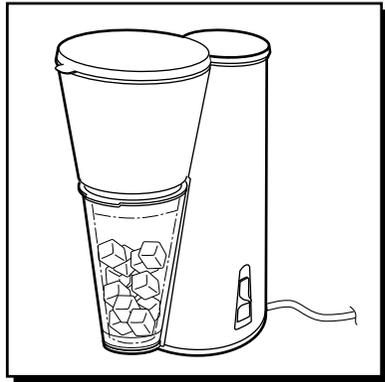
コーヒーは深煎りしたものをおすすめします。アイスコーヒー用として販売されているものもあります。

サーモマグ約８分目のアイスコーヒーを入れるときの例です。

1. 「コーヒーの入れかた」(7ページ)の手順 *1*、と *2* を参考にフィルターをセットし、コーヒー粉を入れる。

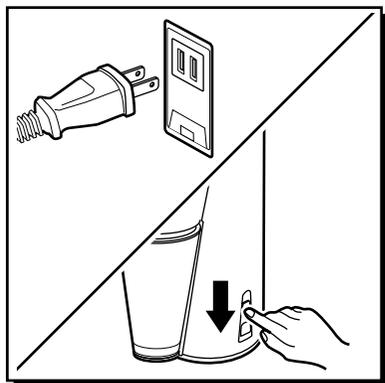
コーヒー粉はスプーン約５杯をフィルターに入れます。

2. ウォータータンクにマグ約7分目の水を入れる。

コーヒーや水の量はお好みによって加減してください。

ウォータータンクに水を多く入れすぎないでください。サーモマグに氷を入れて冷やすため、あふれる可能性があります。

3. サーモマグに氷を7割程度いれ、ベースプレートにセットする。

サーモマグの飲み口（注ぎ口）が開いていることを必ず確認してください。
閉まっているとコーヒーが全てあふれ出てしまいます。

できあがったら、サーモマグを軽く振って1～2分おくと飲み頃に冷えます。
サーモマグはアイスコーヒーの冷たさを長持ちさせることができます。

4. 電源プラグをコンセントに挿して、「スタート」スイッチを押し下げる。

電源表示ランプが点灯し、抽出が開始されます。（手を離すとスイッチのレバーは戻ります。）
抽出が完了するとランプが消え、電源が切れます。

重要 スイッチが切れてから約3分まって、サーモマグを取り外します。

器具のお手入れ

重要 本体を水や、他の液体に浸したりしないでください。

また、湿らせた布で拭くときも、シンナーや、アルコールなどの薬品を使用しないでください。

本体の清掃について

本体の清掃をする前に、電源表示ランプが消灯したことを確認し電源プラグを抜いて、十分に熱を冷ましてください。
清掃をするときは、水で湿らせた布で、コーヒーの粉など、ていねいに拭きとります。

ウォータータンクに水が残っている場合：

サーモマグをセットし、コーヒー粉を入れずに電源スイッチを入れると水がマグに注がれ、タンクは空になります。ウォータータンクの水が無くなると自動的に電源が切れますので、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

洗剤臭が残っているとコーヒーの風味を損ねます。
洗剤はなるべく使わないようにしましょう。

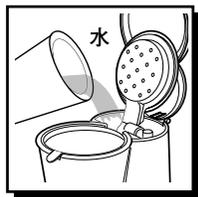
サーモマグや、付属品の清掃

サーモマグ、フィルターフォルダ、パーマネントフィルターおよび計量スプーンは水洗いできます。ご使用後はよく水洗いします。
汚れがひどく、落ちにくいときは薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、流水で洗剤を十分に洗い流してください。

水垢の除去

●レギュラーコーヒー抽出中の音が大きくなった。
●コーヒーのできるまでの時間が長くなった。
等の症状が出たときは水垢の除去を行ってください。

クエン酸は、ショ糖を原料とした食材で、天然の果実などにも多く含まれるものです。クエン酸や専用洗浄剤は、コーヒー器具売場や、薬局などで購入することができます。

1. 280ccのぬるま湯に対し、大さじ2杯分のクエン酸を溶かし、ウォータータンクに注ぎます。サーモマグをベースプレート上にセットして、STARTスイッチを押します。（コーヒーは入れずに抽出操作をします。）

2. 5分ほど置いて本体をさました後、もう一度手順 *1* を繰り返し、最後に水道水で同じように2回ほど繰り返してください。

故障かな?と思ったら

機器が動作しないなどの障害があるときは、まず下の表の原因を調べてください。それでも不都合なときは**デバイスタイル カスタマー サポートセンター**に直接ご連絡ください。

電話 **048-664-3477**

症状	原因
電源が入らない。	● 電源コードがコンセントにキチッと差し込まれていない。 ● 一度コーヒーを抽出した直後にもう一度スイッチを入れようとしている。 （内部がさめるまで約5分程待ってください。9ページ参照）
電源プラグをコンセントに差し込むとすぐに電源表示ランプが点灯する。	●「スタート」スイッチがオンの状態になっている。 → **水が入っていない場合：**そのまま2〜3分経過すると電源表示ランプが消えオフの状態に戻ります。内部がさめるのを待ってください。 → **水が入っている場合：**サーモマグなどを置いて、抽出される液を受けてください。
コーヒーが漏れ出す。	● フィルターフォルダが正しく装着されていない。（6、7ページ参照） ● サーモマグの注ぎ口が閉まっている。 （8ページ参照）
コーヒーが抽出されない。	● フィルターフォルダが正しく装着されていない。（6、7ページ参照）
コーヒーが極端に薄い。	● ペーパーフィルターがフィルターフォルダの側面に沿ってキチッとセットされていない。（7ページ参照）
サーモマグを外した後でも抽出口からコーヒーが洩れる。	● スイッチが切れても2〜3分ぐらいはコーヒーが抽出されるため、3分ぐらい待ってください。
レギュラーコーヒーの沸騰中の音が大きくなった。	● コーヒーメーカーのパイプに水垢がたまっている。 水垢の除去が必要です。（11ページ参照）
レギュラーコーヒーができるまでの時間が長くなった。	● コーヒーメーカーのパイプに水垢がたまっている。 水垢の除去が必要です。（11ページ参照）

主な仕様

レギュラーコーヒードリップ方式	フィルターペーパー式
本体寸法	216×151×276（mm）
本体重量	1.5 kg
定格電圧/周波数	100V　50/60 Hz
消費電力	650 W
タンク容量	420 cc
サーモマグ容量	380 cc
電源コード長	1.0 m
付属品	パーマネントフィルター ×1 計量スプーン ×1

本機の仕様は改善のため、予告無く変更することがあります。

おいしいレギュラーコーヒーを入れるには

コーヒー豆について

挽きたての新鮮な豆を使うのが基本です。

焙煎

レギュラーコーヒー用には標準煎り、アメリカンコーヒー用には浅煎りを使います。浅煎りのコーヒーは酸味が強く、深く焙煎するほど苦みが強くなります。
アイスコーヒー用には深煎りのコーヒーの方が風味が出て、よく合います。

ミル

レギュラーコーヒー用のコーヒー粉は中挽きが適しています。お店で挽いてもらう場合はペーパーフィルタードリップ用に挽いてもらいましょう。焙煎した豆を購入して、家庭用コーヒーミルで挽けばより新鮮なものが使えます。目安としてはグラニュー糖程度の細かさが良いでしょう。お好みの挽き方を工夫してください。
また、アイスコーヒー用には細かめに挽いたものを使います。

鮮度

必要最小限の量を購入して新鮮な内に使い切るようにしましょう。

ブレンド

コーヒーの楽しみはブレンドしてこそ倍増するといえます。ブレンドのしかたは無限にあり、好みにあったブレンドを見つけることは簡単ではありません。はじめはお店の人と相談したり、本などを参考にして色々なブレンドを試してください、その上でオリジナルブレンドに挑戦してみてはいかがでしょうか。

下の表は産地によるおおざっぱな味の傾向をしめします。

豆	産地
酸味のある豆	キリマンジャロ、コロンビア、モカ、ガテマラ、ハワイコナ　等
苦みのある豆	マンデリン、コロンビア、ガテマラ、ブラジル　等
バランスのとれた中間の豆	ブルーマウンテン、ハイマウンテン、サントス　等

同じ産地名でも地域によって、味が大きく変わる場合もあります。
また、ローストの仕方でも味の傾向が変わります。あくまでも目安とお考えください。

カップを選ぶとき

コーヒーの色や感触を楽しんだり、またコーヒーが冷めることをさけるためにも、内側が白色の陶器や磁器が最適です。その上で1種類ではなくその時々によって使い分けることも良いでしょう。
また、コーヒーを注ぐ前に熱湯でカップを暖めておくとコーヒーが冷めにくくおいしくいただけます。

水について

コーヒーの味や、香りを引き立てるには「軟水」が適しています。幸い日本の水道水は軟水ですのでそのままご使用になれます。
また、カルキは沸騰するときにほとんど飛んでしまいますので、あまり気にしなくても良いでしょう。どうしても、臭みが強く活性炭フィルターなどをお使いの場合は、新鮮なものを使って、ウォータータンクに残さないようにご注意ください。

器具は清潔に

サーモマグトやカップは清潔にしたうえでお使いください。普段はマグを洗うときには中性洗剤を使わずに良く水洗いしてください。

長年ご愛用のコーヒーメーカーの点検を!

愛情点検

このような症状はありませんか?

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 本体が異常に熱い。
- コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- こげくさいにおいがする。
- その他の異常がある。

使用中止

故障や、事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店、または弊社カスタマーサポートセンターまで点検・修理をご相談ください。

保証とアフターサービス

保証書について

● 保証書はこの取扱説明書についておりますので、必ず「販売店、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

● この商品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後5年です。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

● **保証期間中は**
保証の規定に従って修理させていただきます。

● **保証期間を過ぎているときは**
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

● **ご連絡先は**
デバイスタイル カスタマー サポートセンターにご連絡ください。

デバイスタイル カスタマー サポートセンター

電話 048-664-3477

e-mail：customer.support@devicestyle.co.jp

修理品の送付先
デバイスタイル カスタマー サポートセンター
〒331-0812　埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677
修理品のお問い合わせ電話：048-664-3477

営業時間：平日午前9時〜午後6時（土日、祝日及び長期休暇を除きます。）

交換部品について

下記の交換部品を用意しております。お求めは上記**デバイスタイル カスタマー サポートセンター**に直接ご連絡ください。

部品名	部品番号
サーモマグふた	CA3-LD
サーモマグ	CA3-TM
計量スプーン	CA12-SP
フィルターフォルダ	CA3-FH
パーマネントフィルター	CA3-PF

株式会社
デバイスタイル ホールディングス
〒107-0062　東京都港区南青山 5-9-6

S-JET マーク認証済み

サービス受付・修理品の送付先
デバイスタイル
カスタマー サポートセンター
電話：048-664-3477
〒 331-0812
埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

部品番号：CA3-IB2